

開催日時

2022年1月15日(土)

19:00 ~ 20:45

オンライン(無料)

第1部:講演

第2部:トークディスカッション

GSMと骨盤底ヘルスケアへの積極的介入が 中高年女性の未来を変える!

GSM(閉経関連尿路生殖器症候群)は、女性特有のフェムゾントラブルを包括的にとらえた概念で、女性のQOLを脅かす重大な疾患として、今、急速に注目されています。また、GSMが骨盤底障害に悪影響を及ぼし、腹圧性尿失禁、過活動膀胱、骨盤臓器脱の要因の一つになることは知られており、GSMと骨盤底障害は密接な関連性があることから、包括的な診断や治療が求められています。

第4回オンラインセミナーでは、GSMと骨盤底ヘルスケアをテーマに開催いたします。各講演では、実際の臨床現場の症例を交えながら、GSMだけでなく、産後の骨盤底ケアまで幅広いお話が聞ける機会です。是非多くの先生方のご参加をお待ちしております。

講演 1



関口 由紀

女性医療クリニック
LUNAグループ理事長

「尿失禁とGSMの 基本知識」

主に骨盤底の筋肉・靭帯・筋膜の問題でおこるトラブルを骨盤底障害と呼ぶ。症状として頻尿・尿失禁・骨盤臓器脱がある。一方GSM(閉経関連尿路生殖器症候群)は、性ホルモンの低下によって起こる、主にフェムゾーン(膣と外陰)の粘膜・皮膚・皮下組織・粘膜下組織などに起こるトラブルで、頻尿・尿失禁・フェムゾーン(膣と外陰)の乾燥感・性交痛などが主なトラブルとなる。今回の講演では、骨盤底障害とGSMの基本知識とその関係に関して復習する。

薬物療法と手術療法だけでは、フェムゾーン(膣と外陰)のトラブルは治らない

閉経や老化によるフェムゾーン(膣と外陰)のトラブルの対応には、チーム医療が必要である。なぜならば、老化による機能低下に対するセルフケア指導と運動等の治療ベースが必要だからである。薬物療法と手術療法はその上に成り立つ。ケアがなければ治療の効果が低くなり、効果の持続期間が短くなってしまふ。理学療法士や開業看護師を交えてチーム医療の多様性に関して言及する。

ご経歴:
横浜市立大学客員教授・日本泌尿器科学会専門医
日本性機能学会専門医

講演 2



笹岡 愛加

女性医療クリニックLUNA
骨盤底リハビリテーション
理学療法士

「尿失禁およびその他GSM 症状に対する骨盤底リハ ビリテーション」

尿失禁はGSM症状の一つであり、また妊娠中や産後に起こりうる症状でもある。海外では尿失禁に対して理学療法士による骨盤底リハビリテーションが行われており、女性下部尿路症状診療ガイドラインの中で腹圧性尿失禁や切迫性尿失禁に対して推奨グレードAである。

しかし骨盤底筋は目に見えない部位で身体を動かす働きはないため、正しく動かしているのか実感しづらかったり、自己流で間違っただまトレーニングを行っていることもある。

近年、「骨盤底」は理学療法士の中でも関心が高まっている分野であり、理学療法士がどのように尿失禁を含む性交痛などのGSM症状や骨盤底のトラブルに対して骨盤底リハビリテーションを行っているのか紹介する。

ご経歴:2006年より理学療法士として従事し、2011年高知医療学院にて専任講師を務める。2014年フランス骨盤底リハビリテーション卒業後研修受講、2017年アメリカ理学療法士協会認定産前産後コース・骨盤底コースレベル1受講。2019年女性医療クリニックLUNAに入職し、骨盤底リハビリテーションの臨床を実践。

所属学会:日本理学療法士協会、日本排尿機能学会、日本老年泌尿器科学会、間質性膀胱炎研究会

講演 3



北條 裕紀恵

ユイワ株式会社 代表

「女性骨盤底トラブルへの サポートケア ～当店の取り組み～」

60歳以上の高齢者では約78%で何らかの下部尿路症状を有するが受診率は全体で18%と低く、男性27.4%に対し女性は9.0%と低い(排尿機能学会誌,2003)。さらに、女性が泌尿器科を受診するのは極端に少ないと言われている。

当店に来店されたお客様に経過を伺うと「病院はハードルが高い」と言う方が多く、次に多いのは「病院に行ったがどうしていいかわからない」、また「病院に行ったが改善しない」と言うもの。この中の詳細は「ハードルが高い」は尿失禁、「どうしていいかわからない」は骨盤臓器脱、「改善しない」はGSMが予想される事例が多い。

このような症状の女性へどのような対応をしているか当店の事例を紹介する。

ご経歴:1993年都立広尾看護学校卒業、総合病院内科、外科病棟、NICUを経て、2011-2017年四谷メディカルキューブにて骨盤底筋体操外来で指導。2018年骨盤底筋トレーニング【YUI】開業。2020年法人化し、ユイワ株式会社設立。骨盤底トラブルの女性をクリニックと連携しサポートしている。

所属学会:女性骨盤底医学会、日本老年泌尿器科学会、日本排尿機能学会、日本性科学会

セミナー参加お申込み方法

■QRコード申込→



■メール申込

info@healthilia.jp

※メールにてお申込みの際は、ご施設名・お名前・メールアドレス・ご住所お電話番号のご記入をお願いします。

「今、女性に求められている 骨盤底ヘルスケアのチーム医療とは？」

フェムテック、フェムケアの高まりから、フェムゾーンの不快症状を訴え解決策を求めようとする女性が増えています。一方、未成熟な分野であるがゆえに、多くの情報難民がいることもまた事実である。

医療機関における積極的なセルフケア指導や運動指導は重要であると思いつつも、日々の診療で多忙な医療機関のみですべてをカバーすることは現実的に難しい。

近年、急速に高まる女性のニーズに対応していくために、医療、理学療法、看護領域がチーム医療としてどう連携すべきか、これからの理想の骨盤底ヘルスケアについて、熱く討論していただきます。

第2部 トークディスカッション

お問合せ先: ☎ 058-275-0177

株式会社アールヘルシリア
岐阜県岐阜市北鶴一丁目59番地